

光が丘四季の香小学校研究だよりNo.5



平成26年9月8日(月)

光が丘四季の香小学校

校長 富澤 素子

校内研究推進部

家

7月16日(木曜日)5時間目に生活科の研究授業を行いました。指導者は、1年2組の渡邊教諭です。1年2組にとっては初めての研究授業でしたが、一生懸命おもちゃを作ったり、試したりしました。

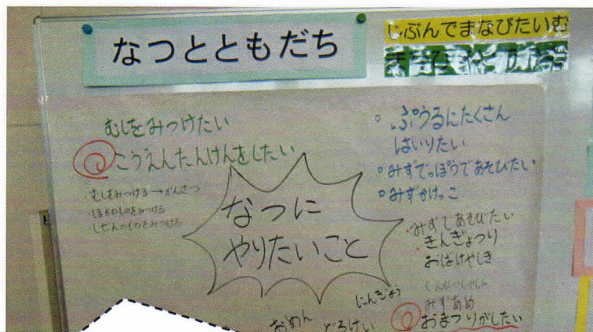
「なつともだち」という学習で、夏の公園で虫取りをしたり、夏にあった遊びを考えたりしました。子供たちのやりたいことを実現していく形で進めていくことで、どんどん子供たちの意欲が高まっていくことが分かりました。自分のおもちゃを作ったり、遊んだりすることに夢中な子供たちですが、同じおもちゃを作る子供たちでグループになり、作業を行うことで、友達のアイデアを取り入れたり、友達の楽しそうにしているところを見付けることができました。今回の研究授業には、講師に練馬区立石神井小学校の主幹教諭根本裕美先生をお招きしました。協議会では、光が丘四季の香小学校の教員が今後活かせる指導および講評をたくさんしていただきました。

この授業で、児童に身に付けさせたい学習内容(この授業のねらい)

- ・夏を感じ、夏に親しむために楽しみながら、「みずまつり」の準備をする。

①導入(思いや願いをもつ)

導入では、いままでの活動を思い出しながら、今日の授業でやりたいことを確認しました。



自分たちの願いを意識し活動させるために、子供たちがこの夏にやりたいことを書き出しました。



もっと上手に作りたい!

上手にできるか、試してみたい!!

②展開(ためす)

自分で学びタイム・学び合いタイム

自分のおもちゃをさらによくするために改良したり、実際に使って試したりしました。自分で作りながらいい方法を見付け、友達の楽しそうにしているところを見付けることができました。

